

地元を見直して、地域に誇りを! ほうき★輝く未来フォーラム

ほうきまちづくり塾は、11月28日、農村環境改善センターで「ほうき★輝く未来フォーラム」を開催。会場には、町内外から約200の方が来場しました。

第1部では、「輝く未来の伯耆町を考える」をテーマにパネルディスカッションを実施。塾リーダーの村尾武さんがコーディネーターとなり、BSSラジオでお馴染みのべるをさん、よなご・まちづくり塾副代表本城祐子さん、溝口青年会の田中修一さん、塾生の内藤陽博さんと町長で、伯耆町のこれからについて語り合いました。

第2部では、地元山陰を拠点に活躍する女性シンガー六子(ろこ)のライブと、町内のSUTjr. 合唱団と六子による合唱を披露。会場を盛り上げました。

ほうきまちづくり塾は、協働のまちづくりについての理解を深めるとともに、地域のリーダーを育成するため平成18年から開催し、今期で4期目となります。今年も6月にスタートし、月に1～2回集まり、意見交換や学習を重

ねてきました。そしてこのフォーラムは、塾生たちの自主企画事業として実施したもの。「このイベントをきっかけに多くの方がまちづくりに関心をもっていただければありがたい」と、リーダーの村尾さんは、まちづくりへの思いを新たにしていました。



六子といっしょに合唱したSUTjr. 合唱団



パネルディスカッションを行う村尾さん、町長、本城さん、田中さん、内藤さん、べるをさん(左から)



べるをさんのトークに、笑いがこぼれる来場者

金メダリストがバレーを指導 トップアスリート派遣指導事業

文部科学省が子どもたちにスポーツの楽しさを伝えようとするためのトップアスリート派遣事業バレーボール教室が、12月8日、日光小学校体育館で開催されました。

この日の指導者は、1976年、カナダで開催されたモントリオールオリンピックバレーボールの金メダリスト加藤きよみさん。日光小学校の1年生から6年生までの16名が、加藤さんからバレーボールの指導を受けました。

児童たちは、実技指導の前に、加藤さんから本物の金メダルを首にかけてもらい大喜び。「やめたくなることもいっぱいあったけど、仲間と一緒に頑張ろうと言って支えてくれた」という当時のお話を聞き、金メダルの重みを感じていました。

その後、児童たちは、オーバーパスやアンダーパスなどの基本的な動きの指導を受けました。

金メダリストから直接指導を受けるという貴重な体験をした児童たちは、目標を持って続けることや、チームワークの大切さを学んだようです。



加藤さんの金メダルを首にかけてもらい喜ぶ児童たち



アタックの練習をする児童たち



TOWN TOPICS

まちのわだいの募集

【問合せ先】
地域再生戦略課
町づくり推進室
☎68-3113

人権・同和問題の早期解決を目指して 第5回伯耆町人権・同和問題実践研究交流会

鬼の館ホールで、11月29日、人権・同和問題実践研究交流会が開催されました。

この実践研究交流会は、それぞれの実践を持ち寄ることで、交流を深め、人権・同和問題の早期解決を目指し、学習と実践への意欲を高めることを目的に開催されています。

今年も、町内中学生など3人が実践発

表を行い、来場者は人権意識の重要性を改めて確認することができました。

また、徳島県西部青年の会「友輝」の中倉茂樹さんが、「ぬくもりを感じて」と題して記念講演を実施。自らの体験を通して、「後輩に同じ思いはさせたくないから、自分たちの代で差別をなくす」と熱い思いを語りました。



それぞれの体験とお話した実践を発表した、左から岸本中学校の奥田さん、役場の岡田さん、溝口中学校の瀬尾さん

わっしょい!わっしょい!

第24回岸本きないや祭

「つくろう つなげよう ほうきの輪'09」をテーマに、11月14日、15日の2日間、岸本きないや祭が開催されました。

15日は、岸本地域の小学6年生による「こどもみこし」で、にぎやかに始まりました。周辺の会場では、勇壮な風神太鼓の演技や、地元ならではの新鮮な農産品などを売る吉長市、青空市、掘り出し物がいっぱいのフリーマーケットなどイベントが盛りだくさん。呼び込みの声と子どもたちの歓声が、岸本駅周辺に響き渡っていました。



神輿を担ぎ、岸本駅前を練り歩く町内の小学6年生

心温まるおもてなし 上細見文化祭

上細見公民館で、11月22日、文化祭が開催されました。この文化祭は、住民同士が世代を超えてふれあい、一緒に楽しもうと始められ、今回で3回目を迎えました。

会場には、幅広い年齢層の上細見住民による絵画や写真、手芸や花などさまざまな作品が展示されていました。

また、公民館前では、子どもたちと一緒に餅つきが行われました。このもち米は、この文化祭のために住民たちが育ててきたもの。つきあがったもち米は、一つひとつ丁寧に丸められ、訪れた人にふるまわれました。

「これからも住民が力をあわせ、長く続けていきたい」と石原区長。住民の方々の温かさが伝わる文化祭でした。



お茶や豚汁などをいただき、くつろぐ来場者たち